

教育施設情報

施設名：名古屋市立大学病院

※国内留学プロジェクト事務局より：

短期プログラムについては、今後、研修内容が変更となる可能性があります。公募開始時にご確認ください。

施設基本情報 ※施設情報について、各施設への直接のお問合せはお控えください。

〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1

URL：<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>

診療科長/指導責任者

コース	診療科長	指導責任者
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	瀧口 修司	小川 了
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	瀧口 修司	佐川 弘之
高難度膵・肝切除術コース	瀧口 修司	齊藤健太
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	瀧口 修司	齊藤健太
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	瀧口 修司	山川 雄士

対応するプラン（コース/プログラム）

- 胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 高難度膵・肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型

各コースごとの年間手術件数

胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	60	件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	60	件
高難度膵・肝切除術コース	28	件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	40	件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	200	件

対応するプランごとの応募要件

コース	プログラム	応募要件
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	外科専門医を取得していること。
	短期	
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	外科専門医を取得していること。
	短期	外科専門医を取得していること。
	中期	外科専門医を取得していること。
	長期	外科専門医を取得していること。

コース	プログラム	応募要件
高難度膵・肝切除術コース	超短期	外科専門医を取得していること。
	短期	
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	外科専門医を取得していること。
	短期	
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	外科専門医を取得していること。
	短期	外科専門医を取得していること。
	中期	外科専門医を取得していること。
	長期	外科専門医を取得していること。

対応するプランごとの到達目標

コース	プログラム	到達目標
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	術野展開、鉗子操作の理論が理解できる。
	短期	全体の流れや手術コンセプトを理解し、説明できる。
	中期	指導医のもと胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術の部分執刀が安全に実施できる。(目標経験症例数：5～10例)
	長期	指導医のもと胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術において、助手に適切な指示を出し、執刀医として手術を安全に完遂できる。(目標執刀症例数：5～10例)

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	術野展開、鉗子操作の理論が理解できる。
	短期	全体の流れや手術コンセプトを理解し、説明できる。
	中期	指導医のもと胸腔鏡下/ロボット支援胃切除術の部分執刀が安全に実施で

		きる。(目標経験症例数：5～10 例)
	長期	指導医のもと胸腔鏡下/ロボット支援胃切除術において、助手に適切な指示を出し、執刀医として手術を安全に完遂できる。(目標執刀症例数：5～10 例)

コース	プログラム	到達目標
高難度膵・肝切除術コース	超短期	高難度膵・肝切除術を学び、自施設での実践に繋げる。
	短期	高難度膵・肝切除術の手術内容を把握し、手術における助手の役割を理解し、実践できる。
	中期	高難度膵・肝切除術の手術計画を立案し、手術における助手を担当し、周術期管理にも習熟する。(目標経験症例数：5～10 例)
	長期	高難度膵・肝切除術の手術計画を立案し、手術における助手、周術期管理を担当する。指導医の下、術者として完遂できる。(目標執刀症例数：5～10 例)

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術を学び、自施設での実践に繋げること。
	短期	腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術の内容を把握し、手術における助手の役割を理解し、実践できる。
	中期	腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術の手術計画を立案し、手術における助手を担当し、周術期管理にも習熟する。(目標経験症例数：5～10 例)
	長期	腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術の手術計画を立案し、手術における助手、周術期管理を担当する。指導医の下、術者として完遂できる。(目標執刀症例数：5～10 例)

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	術野展開、鉗子操作の理論が理解できる。
	短期	全体の流れや手術コンセプトを理解し、説明できる。
	中期	指導医のもと胸腔鏡下/ロボット支援大腸切除術の部分執刀が安全に実施できる。(目標経験症例数：5～50 例)
	長期	指導医のもと胸腔鏡下/ロボット支援大腸切除術において、助手に適切な指示を出し、執刀医として手術を安全に完遂できる。S 状結腸癌においては技術認定取得を目指す。(目標執刀症例数：10～30 例)

給与（中期間型プログラムおよび、長期間型プログラム）

- ・ 中期間型プログラム、長期間型プログラムともに給与の支給：あり

福利厚生

- ・ 住宅手当/社宅：なし
- ・ 院内保育園/提携保育園：あり（6 か月以上の研修で申し込み時に空きがある場合）

施設の特徴：

- ✓ 手術に多く参加することができる。
- ✓ 手術の執刀の機会を多く提供できる。
- ✓ 幅広い症例を経験できる。
- ✓ ロボット支援手術を積極的に取り入れている。
- ✓ 手厚い指導が受けられる。
- ✓ 力量や修練期間に合わせて修練目標・プランの考慮が可能。

施設からの一言： 当院では、ロールシェアサージェリー（手術をパートごとに明確に分担し、手術時間を厳密にコントロールする手法）を中心に、若手医師が積極的に手術、とくにロボット手術を担当できる体制づくりを進めています。

そのため、定型的な症例だけでなく、高難度症例においても段階的に経験を積むことができ、消化器外科医としての成長を着実に実感できる環境です。また、当院では上部・下部・肝胆膵のすべての領域でロボット手術を導入しており、特定の領域にとどまらず、幅広い領域を横断したロボット手術の研修が可能です。

意欲ある若手医師の皆さま、名市大での研修を心よりお待ちしております。